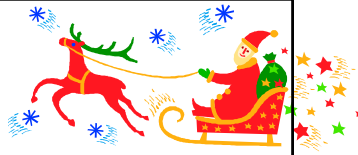


一人暮らし



9月の「先輩と語る会」の全体会で岡山県立大学の先輩が「一人暮らし」について語ってくれました。「一人暮らしは、寂しかったり、病気になったときには辛いこともある。家へ帰っても誰も待っていてはくれないし、自分で食事の支度をしなければ食べていけない。しかし利点も多くある。例えば、自由があり自分のペースで行動ができる。そして何よりも、自立する力を手に入れることができる」というような話だったと思います。

私も大学時代東京で初めての一人暮らしをしました。高校時代は地元の大学に通うつもりはなかったのですが、大学へ行ったら当然一人暮らしをすると考えていました。むしろ、一人暮らしをしたら「好きなことが何でもできる」とか「新しい土地で新しい人やモノとの出会いがある」という期待が大きかったと思います。特に東京へ行こうと決めてからは「一度でいいから大都会で暮らしてみたい。そこで様々なチャンスを得たい」という夢を持っていました。

しかし、実際に一人暮らしを始めると、予想しなかった困難に何度も突き当たりました。悪徳商法のセールスや新興宗教、政治団体に引き込まれそうになったこともありました。四畳半一間の下宿、プライバシーの保持は今一つという状態でした。さらに昼食の弁当があたってひどい食中毒に一人で苦しんだこともありました。また、優秀な人間がいかに多いかに圧倒され、自分が何も知らないことにショックを受けました。「何でもできる」といった万能感はすぐにヴァーチャルな世界だと気づかされたのです。

こうした様々な初体験やギャップの中でつくづく考えさせられたのは、自分が高校までにいかに誰かに依存していたかということでした。同時に等身大の自分をじっくり見つめ直す機会となりました。そしてこうした過程で、学習や活動の意義や重要性がはっきりとわかってきました。その結果「自分は何をすべきか」「自分はどこへ向かったらよいのか」といった方向性がわかり、自己を律することができるようになったのです。また私の場合、地元の長所を見直すこともできたことも収穫の一つでした。

皆さんの中には、家の事情で一人暮らしは無理という人もいるでしょう。また自分の生きたい大学が地元にあるから下宿をする必要はないという人もあるでしょう。しかし社会人になるためには、先輩が語ってくれたような「自立」をできるだけ早い時期に実現しなければなりません。大学などの学生時代にどうやって自立を果たしていくのかを上級学校へ進学する前に一人一人が改めて真剣に考えてみることも大切です。(文責：今井雅)

『1年の窓』 冬休みに4月からの総復習

高校では3月の初めに学年末考査を行う。今年度の授業は2月末までのたった2カ月しか残っていません。言い換えれば、1年生で学習すべきことのほとんどは学習済みということです。ここで、ある調査結果を紹介します。

『高校を卒業した生徒に聞く、

『受験に不合格だった理由は？』(ベネッセ)

- 1位 苦手科目をそのままにしていた 76%
- 2位 毎日の勉強時間にムラがあった 60%
- 3位 高校の教科書を軽視して基礎・基本が身につけていなかった。49%
- 4位 ながら勉強で集中力が足りなかった 46%
- 5位 何とかなる。と入試を甘く見ていた 46%

自分に思い当たる項目はありませんか。失敗してから気づいても意味がありません。この冬休みを、ぜひ4月からの学習の総復習の期間にしてください。(文責 谷)

『2年の窓』

冬休みが来ます。受験勉強の開始です。

後期中間考査が終わり、模試の結果も返却されました。冬休みを前にして、少し気が抜けている人はいませんか？しかし、この冬休みが受験のスタート地点です。この冬休みをさぼることは、みんなが100[m]走の20[m]先まで走ったところでスタートし、抜かなければいけないことと同じです。この冬休みの取り組み方によって、3年生の2・3月の結果が大きく左右されます。計画を立てて目標を持った取り組みをすることが大切です。

- ①「**自分を知る**」模擬試験の結果をとおして、自分が何が出来て、何ができないかを知りましょう。
- ②「**弱点克服**」長期休みは、弱点を集中して取り組むチャンスタイムです。集中して取り組もう。
- ③「**受験勉強の方法**」は、できない部分の理解とその後の復習の繰り返しです。まずはこれまで学習してきた内容の復習から始めよう！(文責 竹腰)

『3年の窓』

センター試験までちょうど残り1か月。教室の日めくりカレンダー、つい最近まで「残り100日」なんて言っていた気がするのにあつという間。しかしこの時間、皆は今までにないくらい必死に勉強してきたはず。その取り組みは確実に自分の力になっています。残りの30日間、試験当日の休み時間まで得点UPを信じて無心に取り組もう！

当日までのこの期間、大事にしてほしいのは勉強だけじゃありません。言うまでもないかもしれないけれど、「体調管理」を徹底してください。勉強への焦りからご飯が食べられない、睡眠時間を極限まで削って勉強、なんてことをして、当日体調を崩したら元も子もありません。栄養と睡眠をしっかりとって、規則正しい生活をするによって勉強の効率も上がるのです！朝食を抜く習慣がある人は朝食にしっかりと炭水化物をとること。(血糖値を上げて脳を働かせるのだ！)ただし急に朝食をとると、お腹がゴロゴロ…なんてこともあるのでこの1か月で体を朝食に慣れさせよう。

もう一つはストレスとうまく付き合うこと。高校受験のときは比べものにならないくらい不安や焦り、重圧を感じている人が多いのではないのでしょうか。適度なストレスは受験勉強にも良い効果を与えてくれますが、過剰に感じすぎると悪循環に陥ってしまいます。この時期、焦ってない受験生なんていない！不安じゃない受験生なんていない！みんな不安で投げ出したい気持ちを持っています。ストレスはあつていいのです。学校に来て、友達とストレスを共有しよう。ひとりで抱え込まないこと。みんな同じ気持ちです。(文責：渡部里)

○文系の窓○

学部学科研究 経営学・商学と経済学の違い

今回のテーマは経済学部・商学部と経営学部の違いです。

素人考えでは、「経済学が基礎で、商学・経営学は実践」、あるいは「経済学は抽象的で、商学・経営学は具体的」という区別をしていますがちですが、実際はそうではありません。学問研究の対象に違いがあります。大ざっぱにいうと、経済学は「経済的側面から社会を構成する企業、消費者、政府という主体がどのような仕組みで行動するかを学ぶ」学問、経営学は「主に企業という組織に焦点をあて、その意思決定のメカニズムについて具体的、多面的に学ぶ」学問。経済主体……、現代社会の授業で学習しましたね？ 家庭科の授業でも習ったかもしれません。経済学が広く経済主体を対象とするのに対し、経営学は企業などにターゲットを絞り込んでいる、と考えればいいでしょう。もちろん経済学を学ぶ上では経営学も学ぶでしょうし、その逆も然りです。自分がどちらの立ち位置で研究を深めたいかが選択をするうえで必要な見地だと思います。

経済学、経営学、世の中のお金やものの動きを研究する学問……と思うかもしれませんが、人の消費行動における心理、ルール、数学、統計学等々、守備範囲の広い学問分野であることも確かです。

(文責 大島)

○理系の窓○

農業高校や農業大学を舞台とした漫画の影響もあるのか、最近、都会の若者で会社を辞めて農業をする人が増える等、農業人気が高まっているそうです。

日本の農業従事者のほとんどは高齢であり、多くの農家が後継者不足にあえいでいるこの状況下、本気で農業を始めってくれる優秀な若者が増えてくれることは非常に有難いと思います。

「農業と言えば東北地方でしょ！」という私の偏見に基づいて、今回は東北の公立大学である宮城大学と秋田県立大学を紹介します。

国公立大学の農学部というとバイオ系の学問研究中心で、新しい品種の開発とか遺伝子組み換えとかそういった研究ばかりしているイメージがあるでしょう？ところがどっこい、宮城大学にはファームビジネス学科、フードビジネス学科、秋田県立にはアグリビジネス学科、という**農業をビジネスとして学ぶ**学科が存在します。分子生物学等も学びますが、それ以外にも食品水田や農場での実習を通して植物・動物の両系統の食料生産について学び、研究室では化学実験演習、更には経済学、経営学までも学び、農村の振興策など行政分野にまで手を広げ、もう**理系か文系か分類し難いくらい幅広い内容**の学びが出来ます。

(各学科で微妙に内容が異なります。詳しくはHPや大学案内参照) なお、アグリビジネス学科は「恋するフォーチュンクッキー」の曲に乗せた学科紹介動画を You Tube で配信中です。

(文責：鈴木貴博)

☑総合学習の扉☑

第6回 総合学習の扉の中へ

今回の総合学習の時間では、理系のゼミで行われた内容をいくつか紹介していこうと思います。理系のゼミは、前半に学部学科調べを行っていました。自分たちの行きたい学部の研究室での研究内容まで調べ、お互いに発表し交流していたようです。後半からは、分野ごとに特色を出して行っています。文系のゼミのようにテーマを決めて調べ学習を行っているゼミもあります。

看護ゼミでは、「尊厳死」をテーマとし、調べ学習を行い、グループごとに話を行い、お互いの意見を交流し、深め合っていました。また、いくつかのゼミを合併し、実験を行ったゼミもありました。匂いを作成する実験(商品開発などでよくあるそうです)など普段の授業ではなかなか行えないことをしています。匂いを作成する前半部分を見学させていただきましたが、とても強烈な臭いで、正直いい匂いなど作れるのか。と疑ってしまいましたが、最後にはパイナップルや柑橘系の甘い匂いに変化しており、生徒も驚いていたそうです。

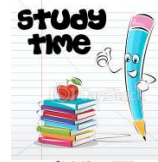
総合学習の時間も残りわずかとなり、まとめに入っているゼミも多いと思います。最終的には、全体で各ゼミの代表者による発表会を行う予定です。みなさんそれぞれ良い発表ができるように、冬休みを有効活用して行ってください。

(文責 波勢)

○Book Review○

『高校生のための現代思想ベーシック ちくま評論入門』筑摩書房

『高校生のための現代思想エッセンス ちくま評論選』筑摩書房



今回、紹介する本は『ちくま評論』シリーズです。評論文が苦手な生徒諸君にはぜひおすすめです。評論文を読解するための一つに数をこなすことが大事と私は考えます。しかし、現代文の教科書のように様々な話が多数掲載されている本は少ないです。そんな中、この本の中身を見てみるとわかると思いますが、国語の教科書みたいです。様々なジャンルの評論が多数掲載されており、問題までついています。解説もわかりやすく、各テーマについても図式でみやすいです。

また、この本の良いところは現代文の力になるだけでなく、小論文の力にもなってきます。私も高校生の時、小論文の勉強として薦められ購入し、活用していました。評論文しかないの？と思ったかもしれませんが、小説版もあります。興味があれば、一度本屋さんでページをめくってみてはいかがでしょうか？

『高校生のための現代思想ベーシック ちくま小説入門』筑摩書房

『高校生のための現代思想エッセンス ちくま小説選』筑摩書房

(文責：波勢)